

政務レポート

りれししまん

2012年10月20日
鳥取県議会議員
鳥取市片原1-107
砂場隆浩

「Relation」とは1605年、ストラスブールでヨハン・カロルスが世界で初めて創刊した新聞です。直訳すれば「関係」。つまり、架け橋という意味があります。

県青少年健全育成条例改正は問題 表現の自由は市民社会の基本 公権力の不介入が大原則

9月定例県議会に薬物を描いた書籍の販売を自主規制する青少年健全育成条例改正案が提案されました。長谷川稔議員と強く反対しましたが、賛成多数で可決されました。公権力が表現の内容評価で表現行為に介入すべきではありませんし、薬物被害の蔓延阻止は、製造販売の取り締まりと、薬物に手を出さない子どもを育てる教育しかないからです。



最終日、採決を前に登壇し改正反対を訴えました

◆**不明確な条文**
私が「どんな本が対象になるのか」と本会議や所属

脱法ハーブが社会問題化していることから、性、暴力、自殺を推奨する表現がある本の青少年への販売自粛を書店に求める県青少年健全育成条例に薬物を加えるのが今回の改正です。

◆**書店は本の専門家**
表現の自由は、個人の自己実現に奉仕し、国民の自己統治に不可欠な人権ですから、公権力は介入すべきではありません。反対は報道機関に奉職した者として心からの叫びなのです。

◆**必要なのは直接規制**
修正案は可決されましたが、私が主張した薬物検査体制強化と製造販売禁止条例に着手し、薬物乱用教育を充実させる方針を県は打ち出してくれました。

◆**名作も規制対象?**
入手法を詳述した本はともかく、薬物賛美を規制するのも問題です。



文学の本質は人間を描くことで、人間は道徳的な存在であると同時に不道徳な存在です。時に酒色に溺れ、自己破壊願望を示す存在です。米国の若者を描いた小説にはマリファナが、清朝末の中国を描いた物語にはアハンの描写も出てきます。県は文学作品は対象ではないと言いますが、ならば条文にそう明記すべきです。書店の皆さんは「問題になる可能性がある本は店頭に置けません」と言われます。これが表現の自由を規制すると起こる萎縮効果の怖さです。

する福祉生活病院常任委員会で質問しますと、知事や子育て王国推進局は「薬物乱用を賛美し、推奨し、使用法や入手法を説明した本」と答弁しました。説明しないと理解できないような不明確な条文で規制することは人権擁護の視点からは極めて問題です。

鳥取の書店はブックインとつとりを開催されるなど全国から先進的で良心的と高く評価されています。ならば県は自主規制を条例で求めるのではなく、本の専門家である書店にお任せす